

企業概要



住み継がれる家づくり
清水畑建設

有限会社 清水畑建設
代表取締役社長 清水畑 貴彦
(所在地：岩手県盛岡市)



弊社について

弊社は約40年前から岩手県盛岡市を拠点とし、新築、増改築、修繕など、家づくり・家守りをしている工務店です。「住み継がれる家づくり」をコンセプトに、可変的で増改築がしやすく、高断熱・高気密で高性能にしやすい木造在来軸組構法で家づくりをしています。軸組の家をつくる大工の技術が継承されてこそ、長く住み継がれる家づくりができると考えております。

また、私たちはいつも気持ちのいい家をつくりたいと考え、家づくりに取り組んでいます。そのために、デザイン、素材、断熱・気密性能、機能性など様々な要素を考慮しつつ、気持ちのいい家づくりのために、シンプルにプランすることを心がけています。地産地消の家づくりもシンプルな考え方のひとつで、岩手県内の豊富な樹種の木材を利用して家づくりをしています。

家づくり以外でも当社の事務所である「ハタノバ」をフリースペースとして地域の皆様に提供しています。これからも地域に根ざし、信用第一の気持ち、感謝の気持ちを持って仕事をし、地域の皆様に愛される工務店を目指してまいります。

現状のSDGsに対するマテリアリティ（重要課題）

大項目	マテリアリティ（重要課題）
環境の保全	温室効果ガス排出量の削減、エネルギー使用量の削減、持続可能な森林資源の利用
従業員の働きがい	従業員の心の健康保持、シニア活躍推進、多様で柔軟な働き方の推進
地域社会への貢献	森林や山の自然の保護活動、地域とのコミュニケーション、地産・地消の推進
コンプライアンス・ガバナンス	コンプラ体制の構築、消費者・顧客課題解決、業務効率化や生産性の向上

有限会社 清水畑建設 SDGs宣言書

当社は、国際連合で採択された持続可能な開発目標（SDGs）の達成に、以下のマテリアリティ（重要課題）への取り組みを通じて貢献します。



2023年3月28日
有限会社 清水畑建設
代表取締役社長 清水畑 貴彦

マテリアリティ（重要課題）

環境の保全

高性能な家づくりを追求することで積極的に環境保護に取り組むとともに、環境経営に関する社内浸透を進めます。

▼目標・取り組み内容

- ・高断熱高气密の省エネ住宅づくりを通してCO2削減に貢献します。
- ・高性能な家づくりにより、エネルギー使用量の削減に貢献します。
- ・空き家リフォーム活用で資源利用量を削減し森林保護に貢献します。



従業員の働きがい

誰もが働きやすい職場環境づくりを行い、従業員のエンゲージメントが高い企業を目指します。

▼目標・取り組み内容

- ・メンタルヘルス不調による休職の発生をゼロにします。
- ・定年を迎えた従業員の継続雇用への移行率100%を目指します。
- ・業務繁閑や従業員の事情に合わせ、柔軟な働き方を推進します。



地域社会への貢献

地域にある資源・魅力を発見し、「ハタノバ」から発信することで、まちづくりに貢献します。

▼目標・取り組み内容

- ・地域の植林活動へ参加し、自然の保護活動に貢献します。
- ・「ハタノバ」を活用し地域の資源・魅力の発見発信に貢献します。
- ・いわて木づかいサポーター登録者として地産地消を推進します。



コンプライアンス・ガバナンス

コンプライアンスを遵守し、お客様に寄り添った経営を行ってまいります。

▼目標・取り組み内容

- ・お客様や従業員からの声を大切にし、業務改善に努めます。
- ・アフターフォローを徹底し顧客満足度の向上に努めます。
- ・コミュニケーションの円滑化を図り、生産性の向上に取り組めます。



【企画・制作協力：株式会社日経リサーチ 「SDGs経営推進プロジェクト」】